

令和3年(2021年)9月3日

## コロナ時代の「おうち時間」に寄り添う新企画住宅 「家族で“我が家の図書館”を育てる家」 大きな「ホームライブラリー」を備えるモデルハウスが公開開始！

株式会社エルハウジング(本社:京都市右京区 代表取締役:村井 孝彦)は、コロナ時代のステイホーム需要とその課題に対応する住宅企画として【我が家の図書館“ホームライブラリー”を育てる家】を、京都市右京区に分譲地内にて2021年8月28日(土)より公開開始いたしました。共有スペースに大きな造り付けの本棚を設置し、持ち寄った本を共有することで、家族の会話や交流のきっかけを創出します。本専用の収納が欲しい読書好きの世帯はもちろん、子どもの知的好奇心を育てたい子育て世帯にもフィットするコンセプト住宅です。モデルハウス公開は2021年12月までを予定しております。

### 我が家の図書館【ホームライブラリー】を育てる家とは？

**大きな「ホームライブラリー」を設置することで、おうち時間の充実・課題解決を助ける新企画住宅です。**

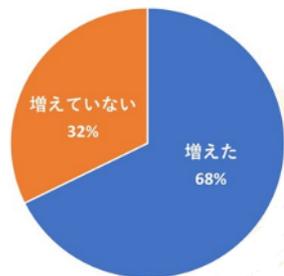
働き方改革や、新型コロナウイルス感染拡大での「新しい生活様式」の推奨により、ステイホームの定着が進む昨今。エルハウジングでは、「ステイホームでの学習機会の増加」や「家族との円滑なコミュニケーション」という世間の課題に焦点を当て、生活の一部に新たな空間をはめ込むことで、よりよい生活の形を提案していきます。各々の興味関心のある書籍を持ち寄り、家族全員で共有し育てていくことができる「ホームライブラリー」を備える新企画住宅です。

### 「ホームライブラリーを育てる家」3つのきっかけ

#### ①おうち時間の増加

新型コロナの拡大に伴う外出自粛の動きで、外に遊びに行ける機会が大幅に減少しました。その分増加した「おうち時間」(※1・右図)の過ごし方は、特に子どものいる家庭においては大きなテーマです。室内でできる楽しみとして根強い人気の「読書」を、読書の習慣がない方にも気軽に楽しんでもらうには…というアイデアから生まれた新企画住宅です。

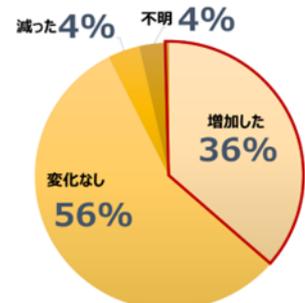
Q「おうち時間」増えましたか？増えていますか？



#### ②家族内の円滑なコミュニケーションに向けて

特に共働きの子育て世帯は、仕事や家事に追われ、配偶者や子どもとの会話や交流に不安がある傾向にあります。家族が興味関心や何を思っているのかが少しでも分かれば、コミュニケーションの糧となります。親の本を子どもが読み、また子どもの本を親が読むことにより、家庭内での共通知識・共通理解が増え、家庭内の文化が醸成されます。その積み重ねにより、**コミュニケーション時の相互理解度の向上**を図ることも可能です。そのほか、所持している本が多く邪魔だと家族に言われがちな読書家の方も自室以外にも大きな収納があれば、家族の不満が軽減され、円滑な関係を築く一助となります。

Q：昨年の緊急事態宣言以降、ご自宅での学習時間は増えましたか。



【調査概要】「コロナ禍における自宅学習に関する実態調査」・調査方法：インターネットアンケート・調査実施機関：楽天インサイト株式会社・調査実施期間：2021年2月10日(水)～2021年2月12日(金)・対象地域：緊急事態宣言対象11エリア(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・大阪・兵庫・岐阜・愛知・福岡・京都)・対象者：1歳～12歳の子を持つ親600名(セガトイズ調べ)

#### ③コロナ時代における家庭内学習機会の需要をキャッチ

コロナ時代の子育てにおいて、特に課題として挙がるのが「**家庭学習機会の増加**」です。昨年の緊急事態宣言以降、子どもたちが自宅で学習する時間は増加傾向にあります(セガトイズ調べ:右図参照)。感染状況によっては休校となることや、塾が休みになることが増える中で、多くの親は子どもの学力について大きな心配を抱えています(※2)。そこでエルハウジングでは、普段の生活の中にも学習のチャンスを盛り込みたいという需要を見込み、このような住宅を企画いたしました。この住宅では、ホームライブラリーのほかにも「ワークピット」という作業スペースをLDK部分に設けることにより、より子どもの学びにアプローチしやすい環境を創出しています。

【※1】この1年でどう変わった？みんなの「おうち時間の過ごし方」アンケート | みやラボ！リサーチ: [https://www.miyalabo.jp/topics/topics.shtml?t=labonews\\_140](https://www.miyalabo.jp/topics/topics.shtml?t=labonews_140)

【※2】【with コロナ時代の教育調査】保護者の心配事の6割が学力について。オンライン活用等で学校教育を補完: <https://fc.dai.co.jp/articles/1045>

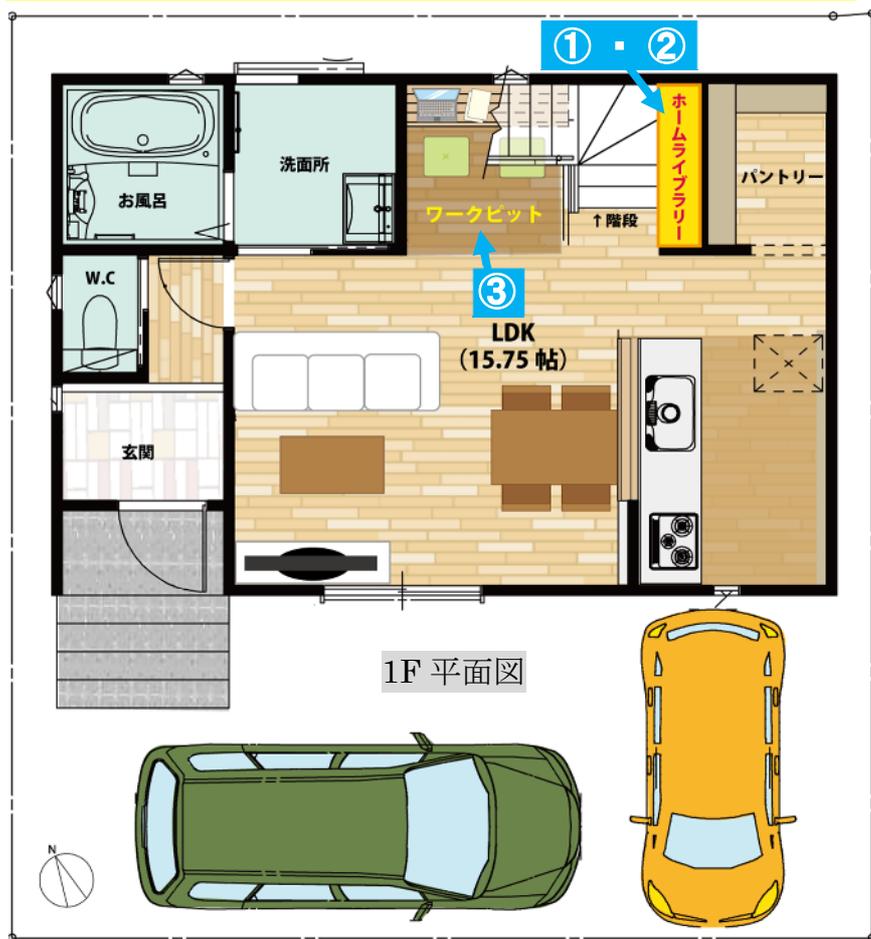
お問合せ先

株式会社エルハウジング 広報担当：佐々木

TEL 075-882-5900(代) 携帯：090-4496-5673 / E-mail：[sasaki@sagano-g.jp](mailto:sasaki@sagano-g.jp)

## 【商品概要】

### ホームライブラリーを育てる家 3つの特徴



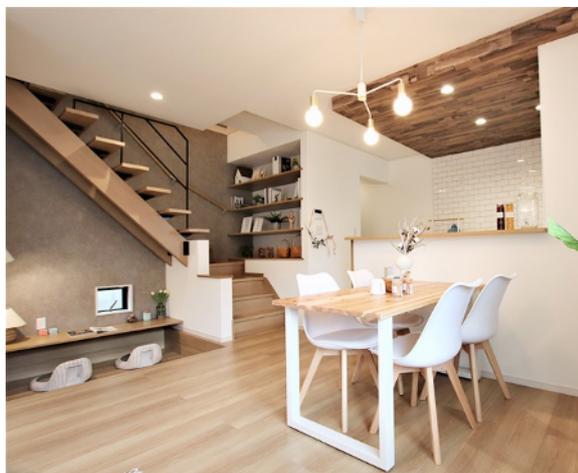
▲物件外観

名称：鳴滝蓮池町 2 号地  
所在地：京都府京都市右京区  
鳴滝蓮池町 6-9 他  
延床面積：85.29 ㎡  
公開期間：2021 年 12 月まで（予定）  
販売者：株式会社エルハウジング  
アクセス：京都市バス「三宝寺」より  
徒歩約 3 分  
京福電鉄北野線「宇多野駅」  
より徒歩約 10 分  
JR 山陰本線「太秦駅」より  
徒歩約 23 分



#### ①スペースの有効利用

階段の壁面という活用しづらい部分は、壁の厚みが十分あれば有効活用することが可能です。今回は十分な横幅を確保し、より多くの本を収納できるよう設計しています。家族の本をランダムに収納してもよし、1 段ずつ自分の段を決めてもよし、と使い勝手のいい 4 段の本棚としました。また、壁に食い込む形となっている為、LDK 部分の邪魔になることなくすっきりとした空間を実現しています。



#### ②LDK そばの便利な配置

ホームライブラリーは LDK から簡単にアクセスすることが可能です。自室に向かう際や、リビングに出てくる際に、**ついでに寄ることができる場所に配置**することで、家族で「ホームライブラリーに関わる習慣」を育てることができます。家事の合間に階段に腰掛けて写真集眺めたり、リビングで家族全員で漫画の一気に読み…など、**様々なシーンの憩いの場として気軽に利用できる便利な配置**です。読書家の方は、買って来たばかりの未読本を置いておく本棚として利用したり、お出かけのお供の本を選ぶスペースとしても、使い勝手の良い配置となっています。



#### ③ワークピットとの併用で、在宅ワーク・家庭学習にアプローチ

ホームライブラリーのすぐそばには、階段下の空間を利用したスペース「ワークピット」を設けています。ホームライブラリーの本を集中して読むスペースとして最適です。また、カウンターを造りつけている為、パソコンや資料を持ち込めば在宅ワークスペースとして、勉強道具があれば自習スペースとして活用することが可能です。かさばりがちな文房具や資料、参考書や辞書などは、ホームライブラリーに収納しておくこと次に作業をするときもスムーズに準備ができ便利です。**ホームライブラリーをワークピットの一部として活用することで、おうち時間のさらなる充実が期待できます。**